

令和8年度大豆情報 第2号

令和8年6月4日 発行

福島県会津農林事務所喜多方農業普及所

栽培のポイント○除草対策○中耕培土

1 除草対策

- 除草対策の基本は、以下の3点です。

- ① 土壌処理剤の散布
- ② 茎葉処理剤の散布
- ③ 中耕培土

雑草の発生は大豆の生育を低下させ、収穫物の混入等の原因となり品質にも影響するため、除草対策をしっかりと行いましょう。

- 土壌処理剤は播種直後、遅くとも播種後2～3日後以内に散布しましょう。

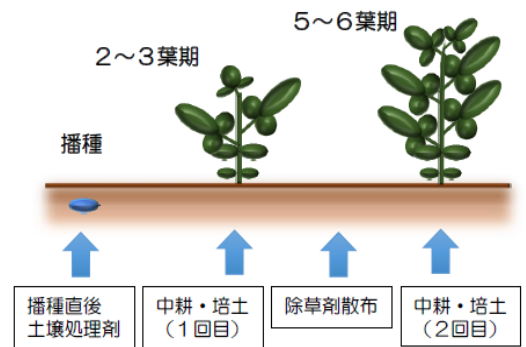


図1 除草対策の時期

表1 土壌処理剤と茎葉処理剤について

	剤名	適用雑草名	使用時期	使用量
土壌処理剤	エコトップP乳剤	一年生雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	400～600 ml/10a (希釈水量:100ℓ/10a)
	フルミオWDG	一年生広葉雑草	は種後出芽前 (雑草発生前)	5～10 g/10a (希釈水量:100ℓ/10a)
茎葉処理剤	大豆バサグラン液剤 (ナトリウム塩)	一年生雑草(イネ科を除く)	だいの2葉期～開花前 (雑草の生育初期～6葉期) 但し収穫45日前まで	100～150 ml/10a (希釈水量:100ℓ/10a)
	ナブ乳剤	一年生イネ科雑草(スズメノカタビラを除く)	雑草生育期イネ科雑草3～5葉期 但し収穫30日前まで	150～200 ml/10a (希釈水量:通常50～150ℓ、少量25～50ℓ)
	パワーガイザー液剤	一年生雑草	出芽直前～3葉期まで(雑草発生始期～2葉期)	200～300 ml/10a (希釈水量:100ℓ/10a)

2 中耕培土

- 中耕培土は、2回実施しましょう。1回目は大豆3～4葉期で子葉節から初生葉が隠れる高さ、2回目は5～6葉期で第1本葉の節が隠れる高さに培土する。
- 中耕培土の主な効果は、以下のとおりです。
 - ① 不定根に着生する根粒菌の窒素固定が期待できる。
 - ② 倒伏防止に効果がみられる。
 - ③ 土壌をかくはんし、雑草の発生を抑える。
- 中耕培土は、遅くとも開花の10日前までには実施しましょう。培土が遅れる場合は断根に注意して作業しましょう。

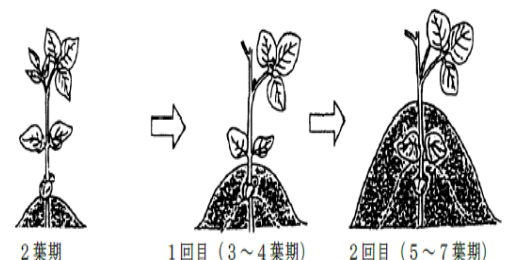


図2 培土の時期と高さ

熱中症等対策期間：令和8年7月1日～9月30日

こまめな休憩を取り、水分・塩分補給を行いましょう！

○本情報の内容や大豆に関するお問い合わせはこちらへどうぞ。

会津農林事務所喜多方農業普及所 TEL：0241-24-5743